

「教員研修会」

8月21日（金）、中央教育審議会の高大接続部会臨時委員である岡山大学名誉教授の垂水共之先生、香川大学教授の真鍋芳樹先生、お二人を講師にお招きし、「教員研修会」を実施しました。この研修会では、舟入高校以外の市立高校や県外（静岡県）からの教員の参加がありました。

垂水先生からは、「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）の目指すもの」、真鍋先生からは、「大学入試改革に向け、どのように大学は取り組もうとしているのか」をテーマにお話をいただきました。

高大接続システム改革とはどのような改革なのか、大学、社会が求める能力とはどのようなものなのか、高校現場ではどのような改革が求められるのかなど、昨年12月の中教審答申以降、次々と発表されている大きな教育改革の動きについて研修を深めました。

ご講演の中では、全国からみた広島県の大学進学傾向についても資料が提示され、示唆に富むお話をたくさんいただきました。垂水先生、真鍋先生、どうもありがとうございました。



